



## オランダ国際球根協会ニュースレター 2010年12月号 VOL.021

Prettige kerstdagen! メリークリスマス! 今年最後の球根ニュースレターをお届けします。

### CONTENTS

「bulb flower festival」2011年 春の球根花からスタート! 大田市場でフェア開催  
Inspiration Christmas with Bulbs 今年のクリスマスは球根を使って  
マーケットとセールス インタビュー 極東諸国グループ会長 デ ウイット氏に聞く  
手を汚さず気軽に長く花を楽しめる「ダブルイージー」フローラホランド・トレードフェアから



### CONTENTS

## 「bulb flower festival」2011年 春の球根花からスタート! 大田市場でフェア開催

2011年は、春の球根花からスタートです!

IBCでは、年明け早々1月10日(月)から、大田市場(東京)で球根花の展示とデモンストレーションを行います。テーマ「2011年トレンドとスタイル~Color your life with Bulbs~」球根花で暮らしに彩りを! 今、新しい素材として注目の「花芽つき球根」や球根切り花を使って、そのコンセプトや長所、ヨーロッパでの使われかたなどの情報、また、ひとつのブランドとして生産者から提案されている「ホームスイートバルブ」などを紹介します。

1月12日(水)の夜には、同じく大田市場で、トップフローリストによるデザイン・デモンストレーションもを行います(無料)。

- \*開催期間 2011年1月10日から15日(1週間)
- \*開催場所 大田市場せり場2階通路にて展示
- \*ミニデモンストレーション 大田市場1階 仲卸通路  
1月12日 7:00~9:00 デザイナーによるデモ
- \*球根デモンストレーション F A Jせり場  
1月12日 19:00~21:00
- \*デモンストレーター:  
平井昭臣&カトリン、レン・オークメイド、かねとういさお

たくさんの方にご覧いただけます。ぜひ、この機会に球根花の新しい可能性を引き出し、商品づくりやお客様に提案するヒントを見つけに足をお運びください!

オランダ国際球根協会 企画・提供

## bulb flower festival

~2011年 春の球根花からスタートしよう~

### デモンストレーションと展示

デモンストレーション  
日時: 1月12日 (水) 19時から21時 **入場無料**  
場所: 大田市場花き部2階 F A Jオークションルーム  
テーマ: 球根鉢物、球根切り花を使ったデザイン  
2011年トレンドとテクニク  
デモンストレーター:  
平井昭臣&カトリン レン オークメイド かねとういさお

開催期間 展示とミニデモンストレーション  
\*10日 (月) 7時から9時 花部の中継室+ホームスイートバルブ エリアでデモンストレーション 1階中継室+中  
\*10日 (月) 13時から15日 (水) 11時まで 展示-花芽つき球根アレンジメントの展示 せり場2階通路+1階中継室+中  
主催: オランダ国際球根協会 (IBC)  
協力: 農大流通学 園芸学・オーケイション・フェア/大田市場花き部・中継室+中継室  
スポンサー: スターアス社 昭和工芸株式会社 ホームスイートバルブ/ブコエティカ 球根鉢物、球根切り花の展示

## Inspiration Christmas with Bulbs 今年のクリスマスは球根を使って

### 元オランダチャンピオンのピート ファン デル ブルフさんのデザイン

昨年12月11日から13日まで開催されたクリスマス展示会のために作ったアレンジメント。ピートさんは球根の形や、質感はとも面白く、土の中にだけ隠しておくことはもったいないと考えており、以前からアマリリスだけでなくヒヤシンス、チューリップ、グラジオラスなどの球根をよく使っています。

球根を使うことは古いのではないのですか・・・という人もいますが、彼から見るとそうではありません。球根は生きているもので、芽が出て花が咲いてくる、そこが気に入っているそうです。

球根を使ったアレンジメントには低温処理をした球根を使用することをお勧めします。クリスマスツリーに使っても飾っている間に新芽が出て楽しい気持ちになります。



### キューケンホフ公園の中のお城で開催されたクリスマスフローラのデコレーション

公園の近くの生産者が共同で球根花を提供しました。今回のアレンジメントはマーガレット ファン ダムが制作。テーマはヒヤシンスの巣。(写真：下左)

オランダの球根に関する団体(KAVB)の主催するフェアではそれぞれの生産者がクリスマスデザインを考え展示しました。

その中の一人、ルネ ザイヤーフェルトさんは彼が生産しているコルチカム、ネリネの球根とエレムルス、ロスコエアの球茎を飾ったクリスマスツリーを披露しました。(写真：下右)





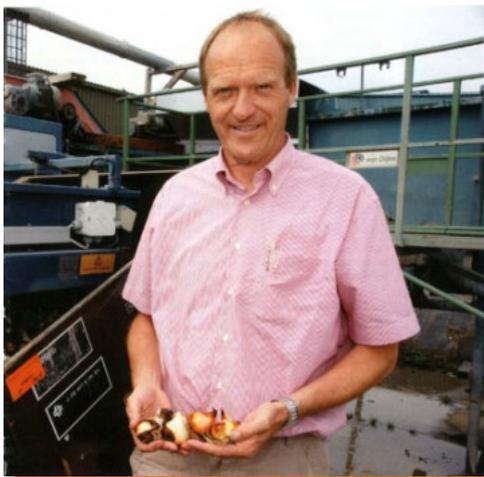
球根と球根切り花を使ったクリスマスアレンジ。赤や白、グリーンといった色でまとめて、オーナメントと一緒に楽しむ。



## マーケットとセールス インタビュー 極東諸国グループ会長 デ ウイット氏に聞く

### 「プロモーションに輸出業者と輸入業者が共に取り組む」

極東は大きく、多様な国々で構成されている。複雑な市場には厳密な植物検疫評価基準があり、球根は最高品質であることが求められている。オランダの雑誌 Bloembollen Visie 誌は Anthos (オランダ王国花き球根・植木貿易協会) の極東諸国グループ会長のヤン・デ・ビット氏に、この市場の成長とグループの活動についてインタビューを行った。



極東は一見、チャンスがあるように見える。この地域にはたくさんの方が住んでいるため、多くの潜在的な花き商品の購入客がいると思われるのかもしれないが、実は思ったより複雑であると、Anthos の極東諸国グループ会長で、球根業者 Jan de Wit en Zonen BV のヤン・デ・ビット氏は話した。

ユリ、チューリップの両方とも、ドライセールや切花栽培用球根にとって、長期に渡り日本市場での売上は落ち込んでいる。チューリップの切花生産は 10 年前と比べて半分になった。日本人はとりわけピンク色が好きで、ユリは主にカサブランカ、シベリア、ソルボンヌの 3 種類に人気がある。また、日本人は最新の品種に大変興味を持つ。

花は贈り物や特別な日のための商品で、現在に至るまで主な販売場所は花屋である。市場を拡大するべくチューリップ販売に刺激を与えるため、オランダ国際球根協会の協力を得て、フレッシュ・チューリップ・プロジェクトを開始した。毎週、チューリップは販売に適した色と切り前でスーパーへ供給されるようになった。極東諸国グループは見栄えが良く美しいディスプレイを開発させてキャンペーンを行い、その結果、消費者は明らかに以前よりも関心を持つようになった。しかし、日本市場は非常に複雑な構造をしており、生産者、せり、仲卸業社とスーパーマーケットの利害が、複雑なかたちでもつれ合っているため、キャンペーンの成果が良好であるにも関わらずプロジェクトをスムーズに進行させることを困難にしている。

## 追加出荷

いずれにせよ、この市場での長年の経験を経た今は、この市場の複雑な構造と伝統については日本では一般的なものと理解している。花は1週間のうち三日間だけせりにかけられるが、多くの小さな切花生産者は最高価格をつけるために金曜のせりまで花を保管する。その後、花が店頭にならぶまでにはさらに数日かかり、花は鮮度を落とすことになる。それはチューリップ市場だけではなく、特にLA、アジアティックなどのユリ市場も同様である。オリエンタルは若干安定しているが、同じく売上は落ち込んでおり、毎年、切花生産は2%から3%減少している。ドライセールも良好とは言えない。例年のMs. Lily 賞のため、今年はユリを長期間店頭に飾ることになり、追加出荷をすることになった。Ms. Lily 賞はユリのイメージを向上させ、毎年とても良い宣伝となっている。さらに長期的に利益を得るために、花キューピット協同組合と共同で「Happy Mother to be」キャンペーンと組み合わせ、母となる女性に花を贈るよう消費者を刺激した。花キューピット協同組合は、このキャンペーンで良い反響を得たようで、これが市場にとって良い結果に繋がることを期待している。プロモーション活動は縮小を続ける市場において重要な武器となるようだ。さらに、極東諸国グループは「スカンジナビア・モデル」を導入することを決定した。定期的に日本花き球根輸出入協会(JFTA)と協議を行っており、最近になり、関係している全てのオランダの輸出会社と日本の輸入会社に、追加の業界課税をかけることを共同で決定した。その資金で、スカンジナビア諸国グループが実施しているような追加のプロモーション活動を行いたいと思っている。Ms. Lily 賞や「Happy Mother to be」キャンペーンの傍ら、フラワーバルブ・オブ・ザ・イヤー賞を設定し、IFEXに参加している。さらに、オランダ国際球根協会の日本地区コーディネーターに、日本で活動するオランダ人フローリスト、レン・オークメイド氏が就任してからは、ニュースレターの発行や展示会への参加をはじめ、レクチャー、プレゼンテーションなど、多岐に渡る積極的なプロモーション活動を行っている。

中国市場の状況は日本とは異なると解釈している。ユリ市場が中国で非常に発展している一方で、チューリップ市場はかなり不安定だ。中国の旧正月のために、伝統的には多くのチューリップが購入されるが、悪天候の場合は売上が落ち込み、取引は不安定になる。中国市場の特徴は、人が大挙して思考することだ。もし売れ行きが好調であれば、彼らは大量に発注し、売れ行きが悪くなれば発注は全くなくなる。その後また発注が再開し、これを繰り返す。ユリが中国で成功したのは、気候を除いて伝統と文化によるものだと考えている。ユリ(百合)という言葉は、中国語で「Bai He」と呼ばれ、漢字は「永遠の幸福を共に」という



意味で、非常に良い印象がある。昨春にリリー・ショーを開催した際は、結婚写真を撮影するために多くの新婚夫婦が訪れた。中国人はとても花に関心があるが、日本人と同様、自分のために花を購入することはほとんどない。そして彼らは日本人とは反対に、国旗の色のような赤いチューリップに黄色い縁取りなどの強い色を好む。

中国市場は切花生産が主で、ドライセールはほとんどない。それは気候が球根育成に適していないことと、中国人の多くは庭を持っていないことに起因している。稀に公園に植えるための球根を販売するが、中国への球根の輸出は、頻繁に変更される厳しい植物検疫要求のため非常に難しい。以前、何種類かのチューリップの球根を公園の造園のために供給しようとしたところ、1種類につき130ユーロの検査費用を払わなければいけないことがわかった。結果的にとてもコストが高くなり、プロジェクトは頓挫した。その間にも、新しい規制に即した市場拡大の可能性を探っているが、検疫は常に障害となっている。

## 利害

生産者との繋がりを保つために、特にユリとチューリップに関して、極東諸国グループは定期的にオランダ王国球根生産者協会の生産グループと協議を行っている。私たちの利害は密接に関係しており、共に売上向上に貢献している。一般的に見られる生産者と取引の間の競合は見られない。Anthos（オランダ王国花き球根・苗木貿易協会）も生産者と取引のコンビネーションで成り立っている。さらに、オランダ王国球根生産者協会のヤン・アペルドールン氏が栽培アドバイザーとして極東諸国グループの役員会議に出席している。このようにして、生産者と良い関係を保ち、対話のきっかけを作っている。このことは、植物検疫要求や検疫システム、関連書類の記入についても重要なことである。さらにAnthosは日本の輸入業者や在日オランダ大使館農業・自然・食品安全部との緊密なコンタクトを取っている。検疫システムについては、一部を自動化することにより現行の複雑なシステムをシンプルにできないか、極東諸国グループとして検討している。それによりシンプルになるだけでなく、より素早く、より信頼性が高まることになるはずだ。

日本において取引の底にはまだ到達していない可能性があると考えている。上手くいけばチューリップ市場は安定するだろう。一方、中国では、市場のバランスが保たれているときも、常に反対の影響がもたらされることに気を付けなければならない。中国でポジティブなことは、中間所得層が多くなることで国が繁栄し、それが結果的に私たちにも有利になることだ。さらに、ユーロ安からも利益を得られる可能性があり、輸出にとってはいずれにしても不利になることはない。極東には大きな変化は期待していない。この地域は文化と伝統を重んじる典型的な地域で、業務は特殊なやり方で行われ、忍耐強くなければならない。もし思い通りに進まなくても憤慨してはならず、笑顔でいなくてはならない。アジア人は衝突を回避しようとする傾向にあり、ある提案に対して「ノー」を直接聞くことはできないだろう。しかし彼らが、「これから検討します」と言ったなら、彼らには興味がないという意味だ。

## 要旨

ヤン・デ・ビット会長は、この市場の典型的な特徴を含め、地域における現在の市場状況を語っている。極東諸国グループは、追加のプロモーション活動のための費用を生み出すためにスカンジナビア諸国グループのモデルを日本に採用することにした。さらにグループは、協力することで「売上向上」という共通の利害を実現するべく、生産者との緊密なコンタクトを保っている。（Bloembollen Visie 2010年7月15日号の記事から）

手を汚さず気軽に長く花を楽しむ「ダブルイージー」フローラホランド・トレードフェアから

[http://www.vdstarre.nl/concepten\\_doubleeasy.htm](http://www.vdstarre.nl/concepten_doubleeasy.htm)

## ダブルイージー 「もう手を汚くする必要はありません」

ダブルイージーのコンセプトは消費者にとってとても扱いやすいものです。

まずパンジーが咲き、それからチューリップが咲き始めます。開花時期は9月から5月。ダブルイージーのコンテナは自然に土に戻る素材を使用していますので、コンテナごと庭の土に入れると花が終わるとそのまま土に戻ります。

コンテナ植えとして楽しみたい場合はコンテナごと陶器やプラスチックの別のコンテナの中に入れてください(右写真)。

担当者によると「ダブルイージー」を商品化するに当たっては、よい球根、そして球根に合う土を選び、100%開花保証をしています。(Bloemenbollen Visieの記事から)



ホームスイートバルブプロジェクトのプロデューサー兼デザイナーの【かねとういさお】さんのホームスイートバルブ写真集がアップされています。ぜひご覧になっていただき、参考にさせていただければと思います。

<http://ameblo.jp/homesweetbulb/>



最後に、これから出版・放送される球根花に関する情報を紹介します。

誠文堂新光社の「フローリスト」2月号は、「メッチャ楽しい春の花芽つき球根」大特集です。1月8日発売。今回は球根の花の大特集で、30ページほどあります。ぜひ、ご覧ください。NHKの「趣味の園芸」は、1月号(12月21日発売)で同じく「花芽つき鉢植え球根」が紹介されます。テレビの放送は1月16日(日)、再放送は21日(金)です。

今年も残すところあとわずかとなりました。球根に始まり、球根に終わる、さまざまなプロジェクトが具体的に進められ、忙しくも充実した一年だったような気がします。ニューズレターも多くの人の協力で毎月発行できました。できたこと、できなかったこともしっかりと振り返り、また来年にむけてがんばりたいと思います。一年間、ありがとうございました!

オランダ国際球根協会ニューズレター第021号 12月号 発行：オランダ国際球根協会

HP：<http://www.kyukon.org/> メールアドレス [ibc@aurorajp.com](mailto:ibc@aurorajp.com)